

事務事業実績測定調査

R4調書番号 026

事務事業名称	道路施設等維持管理事業(直営)										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	維持補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道施設を利用する市民及び準用河川沿線に住む住民すべて			
	サブターゲット	市道施設を利用する事業者及び準用河川沿線で事業を行う事業者すべて			
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと交流及び物流が滞る。河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や物流が円滑に進んでいる。 防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。 				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> パトロールや道路利用者からの通報により発生する補修箇所の把握及び補修等の対応 準用河川を主として、維持管理のために除草および清掃作業を行うとともに、補修工事等を行うもの(直営による保全活動) 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		道路施設及び準用河川等が適切に維持管理できている。				パトロールや道路利用者等からの要望により、補修箇所を把握し、補修・改良および準用河川等の各種保全活動をする。				
指標設定	指標説明	要望に対する対応率 【算出式:対応完了数/受付伝票×100】				要望件数 【要望件数は、管理道路の増加や、大規模修繕等の影響により変動があるため、毎年度見直しを行う。】				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	100	100	100	100	3,400	3,250	3,250	3,250
		達成度	96%				110%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	15.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	85,322	119,524		
	会計年度任用職員	-	2,015	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	87,337	119,524		
	物件費計	-	45,488	49,250	46,430	106.1%
	歳出計	-	132,825	168,774		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	22,990	0	0	
	市債	-	8,400	22,000	22,100	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	31,390	22,000	22,100	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	14,098	27,250	24,330	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、道路施設に関し、市民・自治会等からの通報、要望や道路パトロール(職員)に基づく対応を2,923件行った。道路等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、管理する道路も年々増加している。広範囲かつ大規模な補修や修繕は委託となるが、市民の安全に直結する道路の陥没や穴ぼこ等の緊急対応、災害時の応急対応を直営施工にて実施している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引続き、市民が安全に安心して利用できるよう、道路施設の維持管理を適切に行っていく。

事務事業名称	緑化推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	維持補修課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名	24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁、要綱(枚方市花と緑のまちづくり事業補助金交付要綱・枚方市苗木等配付事業実施要綱)				
関係補助金名称	①花と緑のまちづくり事業補助金②緑化活動団体支援補助金	サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称	花と緑のまちづくり事業選定審査会				
事業対象	メインターゲット	みどりに触れ合う市民や緑化推進を図る市民、市民団体、事業者			
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民			
	ターゲットが抱える課題	緑化を推進する機会や場が少ない			
	ターゲットが抱える課題	活動団体等の固定化、高齢化で活動の継続性の担保が取れない			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民や事業者が主体となり積極的かつ効果的に緑化活動を展開できており、市民全体がみどりの効果を楽しんでいる				
事業概要	<p>緑化活動に対する市民意識の醸成を図り、花いっぱい健康づくりプロジェクトなどを通じて身近な地域の公園から「まちなか緑化」に取り組める環境整備を進めるとともに、次世代の担い手を育成する緑化活動に関する講座等を効果的に実施し、市民の主体的な緑化活動を支えていく。また、みどりを守り、活かすための取り組みを進める。</p> <p>(1)緑化活動に対する市民の意識の醸成</p> <p>①緑化フェスティバルの実施</p> <p>②新生児誕生記念苗木配布事業</p> <p>③みどりに関する講習会</p> <p>④緑化の情報発信</p> <p>(2)身近な地域の公園から「まちなか緑化」に取り組める環境整備</p> <p>①花いっぱい健康づくりプロジェクトの実施</p> <p>②花いっぱい運動の実施</p> <p>③公園アダプトの推進</p> <p>(3)緑化活動を担う市民団体等の支援</p> <p>①花と緑のまちづくり事業の実施</p> <p>②花と緑の園芸楽校の実施</p> <p>③緑化活動団体支援事業の実施</p> <p>(4)みどりを守り、活かすための取り組み</p> <p>①保存樹木・保存樹木補助事業</p> <p>②保存樹林保全事業</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。	緑化イベント等での体験を通じて、緑化活動に対する市民の意識が醸成される。				市民等がみどりに関心を持つ機会を増やすため、緑化イベント等を開催する。							
指標設定	指標説明	緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合【算定式】肯定的に回答した人/アンケートに回答した人				緑化活動に関わった市民等の数(累計)				年度当初に計画した緑化イベント等の実施状況			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	48	49	70	70	40	173	2,500	4,000	1	6	5	5
	実績	22	75	72		190	313	3,369		3	10	9	
達成度	103%				135%				180%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。				市民・市民団体・事業者が育んだ花や樹木等が増加する。				市民・市民団体・事業者と協働しながら、花や樹木等を育む取り組みを推進する。			
指標設定②	指標説明	緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回				市民等が育てた花や樹木等の数				年度当初の計画した花や樹木等を育む取り組みの実施状況			
		単位		%		単位		株(本数)		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	48	49	70	70	0	4,000	15,000	16,000	0	1	11
	実績	22	75	72		0	0	15,573		0	0	13	
	達成度	103%				104%				118%			
ロジックモデル③		市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。				緑化講習会等への参加を経て、緑化活動を行った市民・市民団体・事業者等を支援する。				緑化活動を担う市民・市民団体・事業者等を支援するため、講習会等を計画的に実施する。			
指標設定③	指標説明	緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回				新たに緑化活動に参画した市民等の数				年度当初に計画した緑化講習会等の実施状況			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	48	49	70	70	2	5	500	500	2	5	13
	実績	22	75	72		11	22	1,276		11	22	23	
	達成度	103%				255%				177%			
ロジックモデル④		市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。				危険木の対策を実施することで、保存樹林の適切な管理が推進される。				危険木の対策を実施する。			
指標設定④	指標説明	緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回				対策を行った危険木の本数(累計)				危険木の対策を行った地区数(累計)			
		単位		%		単位		本		単位		地区	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	48	49	70	70	-	25,209	240	370	-	286	7
	実績	22	75	72		10,025	19,856	241		212	296	7	
	達成度	103%				100%				100%			
ロジックモデル⑤		市民等が主体となり、都市環境の保全や、まちなか緑化の推進、都市防災機能の向上等が図られる。				補助金を活用し、保存樹木等の倒木・枯損、その他維持管理上必要な対策を実施する。				保存樹林の適切な維持管理を推進するため、補助金を交付する。			
指標設定⑤	指標説明	緑化イベント等の参加者へのアンケートで、緑化活動に関して肯定的に回答した割合【算定式】肯定的に回答した人／アンケートに回				補助金を活用して安全対策や維持管理が施された樹木の本数(累計)				補助金の申請状況			
		単位		%		単位		本		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	48	49	70	70	-	-	50	100	-	-	11
	実績	22	75	72		-	-	49		-	-	7	
	達成度	103%				98%				64%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.29
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,772	19,001	17,186		
	会計年度任用職員	0	535	531		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	24,772	19,536	17,717		
物件費計	4,163	15,297	18,403	25,160	73.1%	
歳出計	28,935	34,833	36,120			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,639	4,410	8,101	8,843	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,639	4,410	8,101	8,843	
一般財源（物件費に充当されるもの）	2,524	10,887	10,302	16,317		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>緑化フェスティバルの開催については、コロナ禍の影響により2年間中止であったことに加えて、運営主体を実行委員会形式から枚方市の運営主体に移した上での実施となりましたが、市民活動団体等と協働し、緑化推進の一助とすることができた。また、『花いっぱい健康づくりプロジェクト』では新規参加施設の追加、『緑化活動団体支援補助金』での活動支援、『新生児誕生記念苗木』の配付、『花と緑の園芸学校』による将来のみどりに関わる市民の育成など、緑化に係る取り組みを推進した。</p> <p>保全樹林保全事業については、3か年計画の内、2年目の実施であり倒木の危険性があると判断された危険木については、適切に伐採、剪定等を行った。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、継続的に緑化活動の取り組みを推進します。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 593

事務事業名称	都市公園等維持管理事業(直営)										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	維持補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公園利用者すべて			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交友が滞る			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。				
事業概要	公園緑地等725箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検及び塗装や修繕等の維持管理を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						都市公園が適切に維持管理できている。				都市公園の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					要望に対する対応率 【算出式: 対応完了数/受付伝票×100】				要望件数 【要望件数は、変動があるため、毎年度見直しを行う。】			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)					単位	%			単位	件	
		実績					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
	達成度					98%				109%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	12.30
再任用	1.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.11
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	130,846	104,144		
	会計年度任用職員	-	4,131	222		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	134,977	104,366		
	物件費計	-	14,767	15,618	12,920	120.9%
	歳出計	-	149,744	119,984		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	14,767	15,618	12,920	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、公園施設に関し、市民・自治会等からの通報、要望2,273件の対応（除草や遊具の修繕等）のほか、日常点検により、公園緑地等の維持管理を行った。 公園や緑地等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にある。費用対効果化から委託工事になじまない修繕や、市民の安全に直結する公園施設の損傷等の緊急対応、災害時の応急対応を直営施工にて実施している。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、市民が安全安心に利用できるように、公園緑地等施設の日常点検や維持管理を行う。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 595

事務事業名称	菊花展開催及び菊づくり普及啓発事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	維持補修課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名	24-2.市民参加によるみどりを支える仕組みの充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方の菊文化を継承する市民及び市民団体			
	サブターゲット	みどりの効果の恩恵を受ける市民等			
	ターゲットが抱える課題	菊文化を知る機会や菊づくりを継承する場が少なく、菊づくりの担い手が高齢化し、継承者が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民・市民団体が主体となり菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPRできている				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・菊花展の開催 ・菊づくり連続講座の開催 ・小菊栽培講習会の開催 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。				市民が菊文化に関して触れる機会が増える。				菊花展を開催する。			
指標設定	指標説明	菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【算出式: 菊に触れ合えると答えていると回答した人数 / 菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数 × 100】				菊花展の来場者数(累計)				菊花展への菊の出展鉢数(累計)			
		単位		%		単位		人		単位		鉢	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	30	31	32	33	30,000	61,000	93,000	126,000	1,000	2,050	3,100	4,150
	実績	47	34	42		20,400	40,744	74,208		730	1,558	2,665	
	達成度	131%				80%				86%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		市民・市民団体が菊づくりを継承するとともに、行政と連携を図りながら枚方の菊文化を広く市内外にPR出来ている。	市民が、菊づくりに関して触れる機会が増え、菊づくりが継承できる。				菊づくり講座の開催。						
指標設定②	指標説明	菊と触れ合う機会が増えたと感じる市民の割合 【算出式: 菊に触れ合えると感じていると回答した人数: / 菊花展の来場者や菊の講座の出席者へのアンケートの回答者数 × 100】	菊づくり連続講座生の生徒人数(累計)				菊づくり講座の開催回数(累計)						
		単位	%	単位	人数	単位	回						
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	31	32	33	280	133	268	403	43	92	141	190
	実績	47	34	42		0	129	187		0	70	91	
	達成度	131%				70%				65%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.07
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考) R4予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,227	4,910	4,687		
	会計年度任用職員	0	0	132		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,227	4,910	4,819		
物件費計	7,042	7,263	7,789	7,706	101.1%	
歳出計	14,269	12,173	12,608			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	7,042	7,263	7,789	7,706		

5. 総括的分析

総括的分析	市民の菊文化を守り育てるため、「ひらかた菊フェスティバル」の一環として「菊花展」を開催するとともに、菊花展実行委員会と連携して市民の菊づくりの推進を図っている。R4年度は、小菊栽培講座についてはアダプト向け講座(2団体)及び市民向け講座を実施した。また、菊花展に市民菊人形の会の作品や、市民、学校園が育てた菊を展示することで、市の花「菊」の普及啓発を図った。さらに、日本商工会議所青年部による『第40回全国会長研修会 物産展』を菊花展開催期間に同時開催とすることで、他府県等からの参加者に対し、菊文化に触れる機会や情報発信等を行うことができた。 指標実績については、コロナ禍での実施が影響しているものと考えられるが、全体的には菊文化を広くPRできた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、市民の菊文化を守り育てるため、各種取り組みを推進していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 808

事務事業名称	中部別館維持管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	維持補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	土木部中部別館で勤務する職員			
	サブターゲット	市民、事業者			
	ターゲットが抱える課題	庁舎機能が不全であると業務効率が低下するとともに、災害時の機能維持が困難になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	庁舎を適正に維持管理し、効果的・効率的に活用することで、業務水準の維持が図れるとともに、緊急時、災害時の機能確保が可能となる。				
事業概要	土木部中部別館の庁舎(事務所及び車両・資材置き場)としての機能等を確保するため維持管理業務を行う。 施設の維持管理上必要な保守点検については、施設総合管理委託等を導入し、より効率的に実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						中部別館が適切に維持管理できている。				中部別館の維持管理に係る保守点検を計画的に実施する。			
指標設定	指標説明					施設の不具合等の改善率 【改善数/保守点検で判明した不具合等の数】				維持管理に係る保守点検の実施回数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100	100	100	52	52	52	52
	実績					89.65	80	25		51	55	36	
達成度						25%				69%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	5,657	9,765		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	5,657	9,765		
	物件費計	52,263	38,941	24,483	28,322	86.4%
	歳出計	54,656	44,598	34,248		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	22,000	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	22,000	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	30,263	38,941	24,483	28,322	

5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は、市有建築物保全計画に基づき、給水設備更新工事を実施した。また、小規模修繕工事を1件(トイレ温水洗浄便座修繕)実施した。今後も、法定点検や施設の老朽化に伴う修繕工事等を適宜実施していく必要があり、優先順位を考慮したより効率的な予算執行が求められる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	施設の老朽化や消防用設備等(特殊消防用設備等)点検における不良箇所の改善など、今後、修繕費用の増大が見込まれるため、安全面、業務への影響性等を考慮しながら計画的に対応していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 947

事務事業名称	維持補修課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	維持補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑な状態にある。				
事業概要	<p>維持補修課の事務事業が効率的に執行されるよう室内の連絡調整を図る。また、庶務事務や道路補修及び公園に関する市民等の通報受付を適切に行う。</p> <p>①連絡調整事務 予算・決算、各種照会・回答等について、室内の連絡調整及び執行管理</p> <p>?庶務事務 在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の報酬関係の報告等</p> <p>?受付事務 道路補修及び公園に関する市民等の通報・要望等の受付、伝票作成(災害情報システム)、進捗確認</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	4.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	28,442	32,420		
	会計年度任用職員	-	4,156	4,249		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	32,598	36,669		
	物件費計	-	10,837	12,096	11,911	101.6%
	歳出計	-	43,435	48,765		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	10,837	12,096	11,911	

5. 総括的分析

総括的分析	各種照会・回答、室内の連絡調整及び執行管理のほか、予算・決算、職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般を行った。また、市民等からの道路・公園に関する通報・要望等の受付業務（道路関係約2,900件、公園関係約2,300件）を行っており、相当の人員を要する業務となっている。受付業務については、災害情報システムを活用して伝票を作成しているが、実態として現場対応は紙ベースが主流なため、電子化や効率化のための更なるICTの利活用について研究が必要である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課内・室内の連絡調整及び執行管理を適切に行っていく。また、受付業務については、通報・要望等の対応が迅速かつ適切に行われるよう運用する。